

ゲオルク・ヴィッテ教授（ベルリン自由大学）来日講演のご案内

日本学術振興会研究グループ「越境と多文化」の招待で来日されるベルリン自由大学教授ゲオルク・ヴィッテ Georg Witte 氏（スラヴ文学・比較文学）による研究会などが以下のように開催されることになりましたので、ご案内いたします。

事前登録の必要はありませんので、専門的ご関心をお持ちの方の来聴を歓迎いたします。

研究会「翻訳としての文学作品：ナボコフをめぐって」

（報告はロシア語、日本語の解説付き、質疑応答は英語も可）

コメンテーター： 貝澤 哉（早稲田大学） 毛利 公美（北海道大学スラヴ研究センター）

日時 2005年11月20日（日） 14:00-17:00

場所 学術振興会 麹町事務室

住所 〒102-8471 東京都千代田区麹町5-3-1 ヤマトビル4F

交通 JR 四谷駅下車 徒歩5分 アクセスマップ

主催 日本学術振興会研究グループ「越境と多文化」（代表：楯岡求美）

連絡先 楯岡求美（神戸大学国際文化学部）

Tel： 078-803-7441

E-mail： kumi3@kobe-u.ac.jp （@は半角に変えてください）

ゲオルク・ヴィッテ氏略歴

1952年生まれ。ミュンヘン、ケルン、ボーフムでドイツ文学・スラヴ文学を学ぶ。

1994年～2004年 フンボルト大学教授（東スラヴ文学）。

2004年～ ベルリン自由大学教授（比較文学）。

ロシア・アヴァンギャルド、ソヴィエトの非公式文学（コンセプチュアリズムなど）を中心に、

20世紀文学の様々なアスペクトや芸術作品の理論的な諸問題について広く研究している。

=====

なお、ヴィッテ氏による同様の講演・報告が以下の日程で開催されますので、そちらもぜひご参加ください。いずれの行事も事前登録の必要はなく、専門的ご関心をお持ち

ちの方の来聴を歓迎いたします。

各行事の詳細については日本学術振興会研究グループ「越境と多文化」HP

<http://www2.kobe-u.ac.jp/~kumi3/witte.html>

をご覧ください。

1.講演会

「カバコフのインスタレーションについて——「記憶」概念とのかかわり」(ロシア語、通訳なし)

日時 2005年11月19日(土) 16:00-17:30

場所 早稲田大学文学部(戸山キャンパス)33号館2階 第二会議室

2.講義

「贈り物としてのモノ、モノとしての贈り物——ダニール・ハルムス論」(ロシア語、通訳なし)

日時 2005年11月18日(金) 15:30-17:00

場所 東京大学(本郷キャンパス)文学部3号館7階 スラヴ文学演習室

3.研究会

「ヨーロッパの自己認識に果たすスラヴ・ロシアの役割」(仮題)

日時 2005年11月26日(土) 14:00-17:00

場所 神戸大学国際文化学部 E408

=====